



世界農業遺産
清流長良川の鮎

岐阜県、世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会



岐阜県

- ・日本のはば中央に位置
- ・7つの県に囲まれた内陸県
- ・長良川は、伊勢湾に流れ込み、
その上中流域がGIAHSサイト





長良川の概要・特徴

- ・長さ : 約166km
- ・流域人口: 約86万人
- ・流量 : 約 $115\text{m}^3/\text{sec}$

世界農業遺産認定(2015.12)

・人の生活、水環境、漁業資源が深く関わり、連環する「長良川システム」が世界に認められました。





世界農業遺産「清流長良川の鮎」 推進協議会

- ・認定以降、県や流域4市(岐阜、関、美濃、郡上)、関係団体で協議会を設立
- ・アクションプランを策定し、「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承に向けた取組みを推進



鮎生産量の増加

- ・岐阜県の令和6年鮎生産量は、全国1位(2年連続)

| 順位 | 漁獲量(t) | 養殖量(t) | 生産量(t) |
|----|---------|----------|------------------|
| 1位 | 茨城県 267 | 岐阜県 885 | <u>岐阜県 1,142</u> |
| 2位 | 岐阜県 257 | 愛知県 844 | 愛知県 844 |
| 3位 | 滋賀県 209 | 和歌山県 605 | 和歌山県 610 |

(出典：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」)



鮎のブランド振興と消費拡大

・岐阜「鮎料理フェア」

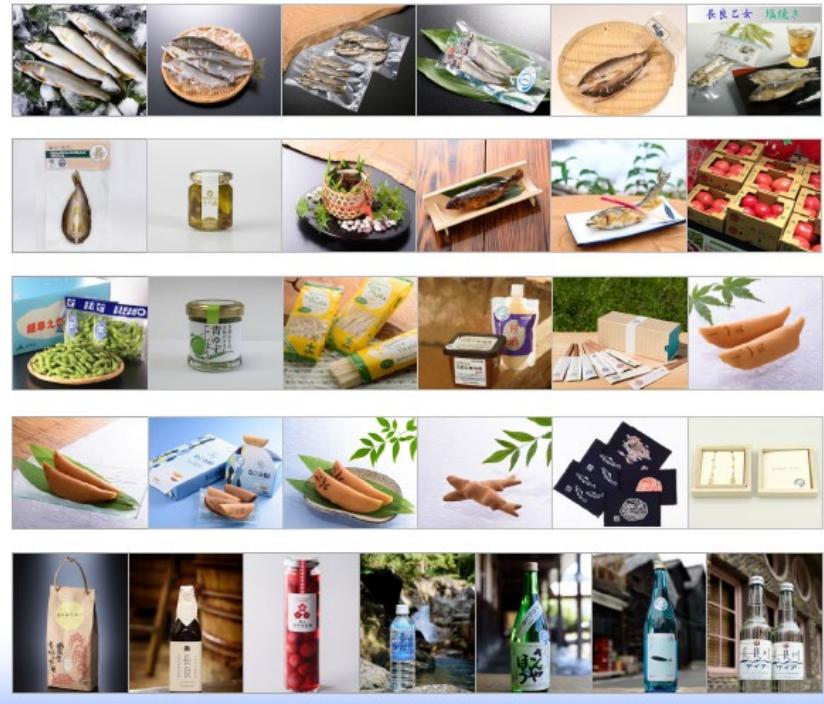
フェア参加店舗数：111(R7.10)

・岐阜「鮎販売フェア」

フェア参加店舗数：84(R7.10)

・BBQで鮎を食べよう！ キャンペーン

キャンペーン参加店舗数：52(R7.10)



鮎のブランド振興と消費拡大

・清流長良川の恵みの逸品

認定商品数：62 (R7.5)



PRやブランド価値向上に一定の成果が認められるものの、まだまだ認知度は低い。
認定地域で、統一ブランドの構築やPR強化を図るなど、関係機関の連携が必要



鮎の関係人口の増加

- 「GIAHS鮎の日」イベント

毎年県内各地で、各種イベントを開催し、世界農業遺産の認知度向上を図っている。

- 「清流長良川の鮎」 認知度

39.1% (R2) → 52.6% (R6)

- 清流長良川あゆパーク(H30~)

漁業体験者数：20万人以上
(小中学校、観光客等)

来場者数：100万人突破(R6.9)



鮎の関係人口の増加

・「清流長良川の鮎」プレーヤーズ

世界農業遺産の保全・活用・継承に取り組む民間団体を「清流長良川の鮎プレーヤーズ」として登録、活動を支援

登録数：29(R7.10)

活動支援数：延べ20団体(R5～R7)



鮎の関係人口の増加

・高校生の調査研究支援

高校生によるアユや長良川を対象とした調査研究の支援

支援実施校：延べ21校(R2～R7)

7. Hybridization Problem in Gifu Prefecture

Gifu's FIRST hybrid individual discovered in Sugata River!

Domestic Individual Hybrids with Chinese Species

Hybrids had NOT been discovered in Gifu until this survey.

No survey has been conducted, and the **progress of hybridization is unknown yet.**

Fig: Prefectures where hybridization with the Chinese salamander has been confirmed

Yellow: Presence has been confirmed
Red: Hybridization has been confirmed



鮎の関係人口の増加

・ふるさと教育

長良川流域の文化や歴史等を学ぶ
ふるさと教育を実施する学校に対し、
講師を派遣



派遣学校数：延べ46校(R3～R7)

小学校24、中学校6、高校4、
大学等12



清流の国ぎふ
The 8th
ERAHS.GIFU

第8回東アジア農業遺産学会(ERAHS) を開催 2024.8.8~9



・各国の最新の取組事例や研究成果を共有



若者の発信力を生かす体験×PRプログラム
2025.8.20～21



今後の世界農業遺産の展開

～シンボルから価値活用へ～

認定10年を迎える節目の年を、
好機と捉え、新たなステージを展開

・若者の発信力の活用

「若者の発信力」を生かし、若者が若者を育てる好循環を構築

・流域から県下全域、全国への展開

県下全域での取組み
認定地域間の連携強化

・行政主導から民間主体へ

世界農業遺産ブランドを活用し、経済的価値を創造



世界農業遺産 清流長良川の鮎



受け継がれた清流を守り、未来へ伝えます

We will protect the clear waters that have been handed down to us and pass them on to the future.